

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 8 号)

2019年12月26日発行

兵庫のり研究所

今回調査は上げ潮時ということもあり、窒素は陸水等の影響を受けていた一部地点を除き別府以西で概ね1 $\mu\text{g at} / \text{L}$ 前後、それ以外の海域で概ね4~5 $\mu\text{g at} / \text{L}$ 台でした。この海域西部を中心に多く発生していた多様な珪藻は減少しており、栄養塩は海域全般に前回 (12/17) 調査よりやや上昇した値となっています。

(水温) 漁場内平均14.5℃。平年比2.0℃、昨年比0.2℃ともに高い。(塩分) 平均32.05psu。前回 (31.75) より約0.3psu高い。
 (栄養塩、珪藻) 魚住以西の沿岸域を中心に多かったキートセロスやリゾソレニア・筒状で連鎖して肉眼視される珪藻等は、発生量が大幅に減少しており散見される程度であった。高砂や伊保・白浜漁場にかけては、これら珪藻がやや目立って確認されるが減少傾向にある。ユーカンピアについても全域において群体が少し見られる程度となっている。窒素は一部を除き、別府沖~高砂周辺で概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、二見以东の海域で概ね4~5 $\mu\text{g-at/L}$ の値であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	14.7	14.5	12.5	14.3
窒素	3.9	4.9	6.0	7.3
リン	0.50	0.59	0.58	0.63

(12/17)

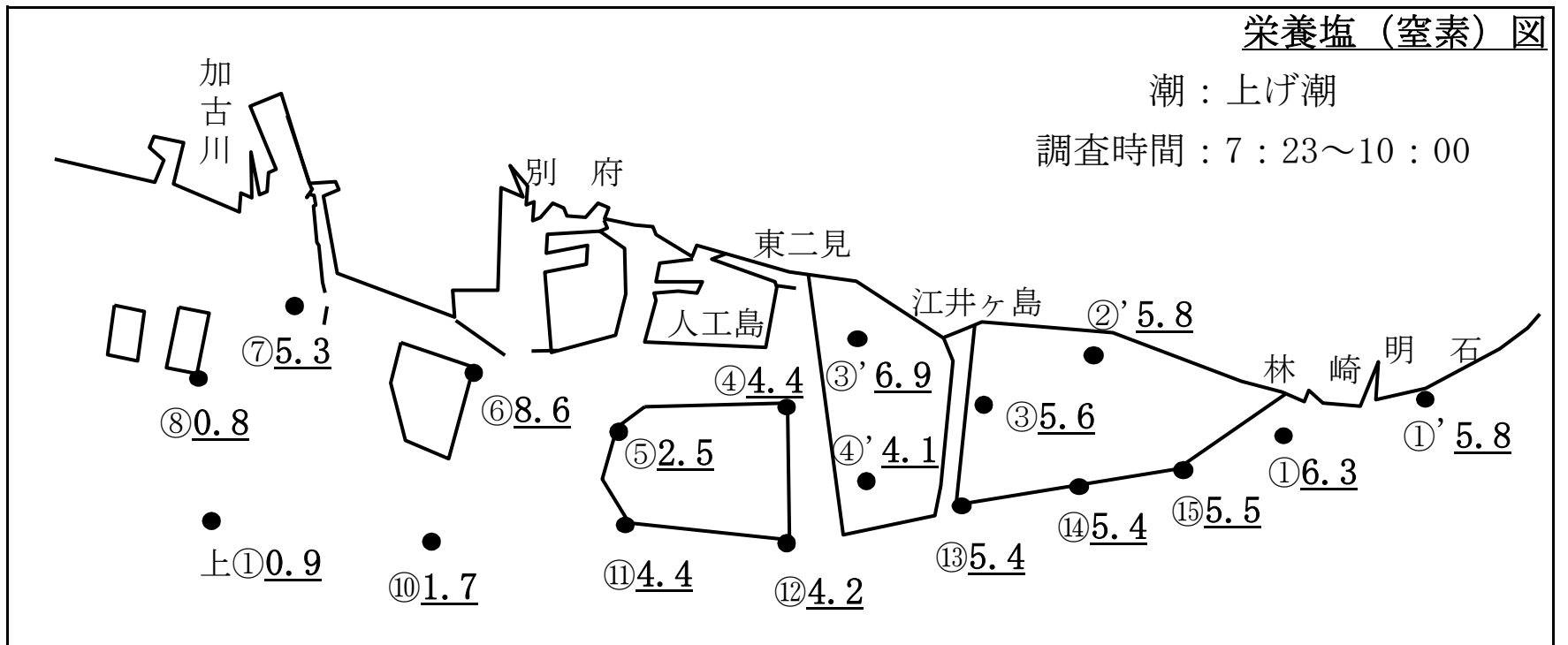
(12/27)

西播地先

伊保 地	水温	13.4℃	伊保 沖	水温	13.5℃
	窒素	1.6		窒素	3.4
	リン	0.42		リン	0.43
白浜 地	水温	13.5℃	白浜 沖	水温	13.6℃
	窒素	2.1		窒素	1.3
	リン	0.39		リン	0.37

2019年12月26日調査

栄養塩 (窒素) 図



水温図

